



# ひらかわ 市議会だより

平成23年  
12月定例会

第25号

平成24年3月15日発行



## 目次

◆平成23年第4回（12月）定例会（概要）	2
（審議した議案）	3～5
◆議決一覧表	6
◆市政に関する一般質問より（12議員）	7～13
◆所管事務調査報告	14
◆議場見学（大坊小）	15
◆議会の動き・編集室から	16

ひらかドーム  
雪置き場の様子  
（2月中旬撮影）

発行：青森県平川市議会 編集：平川市議会広報特別委員会

〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地6 TEL (0172)44-1111 FAX (0172)44-6988

平川市ホームページ <http://www.city.hirakawa.lg.jp/> メールアドレス：gikai@city.hirakawa.lg.jp

# 第4回(12月) 定例会



東日本大震災の犠牲者の御冥福と、一日も早い復興を心からお祈りいたします。

平成23年第4回平川市議会定例会は、12月8日から16日までの9日間開催されました。初日、議案の提案理由の総括説明を受けた後、各常任委員会に付託されました。本定例会では、人事案件5件について原案どおり同意され、条例案2件、条例改正案1件、規約の一部変更1件、指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について11件、平成23年度補正予算案7件、合わせて27件が可決されました。

初日に、会議録署名議員の指名を行い、会期を12月16日までの9日間と定め、諸報告が行われました。大川市長のあいさつと提案理由の総括説明の後、人事案件を除く議案が総務企画、建設経済、教育民生の各常任委員会にそれぞれ付託となりました。

人の議員が、理事者側に対して一般質問を行いました。8日目は議事整理のため休会し、最終日には、各委員長が報告を行った後、質疑応答を経て、平川市暴力団排除条例案等条例案・条例改正案3件ほか、規約の一部変更1件、指定管理施設関係11件、平成23年度平川市一般会計補正予算案7件が可決されました。



【会期日程】

12月16日(金)	12月15日(木)	12月14日(水)	12月13日(火)	12月12日(月)	12月11日(日)	12月10日(土)	12月9日(金)	12月8日(木)
本会議	(議事整理のため休会)	一般質問	一般質問	常任委員会	(休会)	(休会)	(議案熟考のため休会)	本会議



人事案件

平川市教育委員会委員に

内山 浩子 氏  
を同意

平川市教育委員会委員 内山浩子氏の任期が、平成24年2月24日をもって満了するので、再任することに同意しました。

住 所 平川市唐竹  
氏 名 内山 浩子（うちやま こうこ）  
昭和19年生

人権擁護委員候補者推薦に

下 山 美津子 氏  
を同意

人権擁護委員 下山美津子氏の任期が、平成24年3月31日をもって満了するので、再任推薦することに同意しました。

住 所 平川市高木  
氏 名 下山 美津子（しもやま みつこ）  
昭和22年生

平川市固定資産評価審査委員会委員に

明 石 輝 光 氏  
を同意

平川市固定資産評価審査委員会委員 田中克幸氏の任期が、平成24年3月5日をもって満了するので、後任に明石輝光氏を選任することに同意しました。

住 所 平川市碓ヶ関  
氏 名 明石 輝光（あかいし てるみつ）  
昭和24年生

平川市固定資産評価審査委員会委員に

山 谷 文 了 氏  
を同意

平川市固定資産評価審査委員会委員 佐藤諭氏の任期が、平成24年3月5日をもって満了するので、後任に山谷文了氏を選任することに同意しました。

住 所 平川市沖館  
氏 名 山谷 文了（やまや のりさと）  
昭和18年生

平川市固定資産評価審査委員会委員に

木 村 勉 氏  
を同意

平川市固定資産評価審査委員会委員 木村勉氏の任期が、平成24年3月5日をもって満了するので、再任することに同意しました。

住 所 平川市李平  
氏 名 木村 勉（きむら つとむ）  
昭和23年生

条例案

●平川市暴力団排除条例案（公布の日から施行）

平成23年1月1日、青森県暴力団排除条例の施行に伴い、平川市においても市、市民、事業者が一体となり暴力団を社会的に排除し、市民が安全で安心して暮らせる地域づくりに寄与するため、平川市の暴力団の排除に関する基本理念、施策の基本となる事項等を定める。

るため、指定管理に関する規定の追加及びその他の所要の改正を行うため。

質 疑

問 使用料減免の特別の理由とは。

答 学校活動、教育活動等について減免となっている。

条例改正案

●平川市外国語指導助手の給料、手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案（平成24年4月1日から施行）

外国語指導助手に報酬及び費用弁償を支給することとし、並びにその他所要の改正を行うため。

質 疑

問 報酬月額の改定基準は何か。

答 事業主体の財団法人自治体国際化協会との取り決めにより、報酬月額は現金実支給額30万円とされており、これに所得税、住民税等が賦課された場合を見越して上限40万円とした。

●平川市尾上体育館条例案（平成24年4月1日から施行）

平川市尾上体育館の管理を指定管理者に行わせることができるようにす

その他

●青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について（青森県知事の許可のあった日から施行し、平成24年4月1日から適用する）

平成24年4月1日から構成団体として弘前市を加入させること並びに共同処理する事務のうち市町村税等の滞納整理に関する事務に弘前市、黒石市、五所川原市及び三沢市を加えることから、青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について関係地方公共団体と協議する必要があるため。

指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間

※質疑のあったものを抜粋

●平川市碓ヶ関育苗施設

質疑

問 指定管理の期間を5年ではなく3年とした理由は。

答 条例上、最長の指定管理期間は5年であるが、施設の状態や指定管理者の経営状態を勘案し、管理期間を判断している。

問 指定管理施設全般として、今後老朽化が進めば管理費用がかさむため、売却や譲渡も検討すべきではないか。

答 市の施設については、関係課と協議し、売却や譲渡も含め今後の方向性について定めているため、それに基づいて進めていきたい。

●平川市営駐車場

質疑

問 利用料金や管理費用及び収支について。

答 99台分の区画があり、利用料金は月決めで月額3150円。平成24年度の料金収入見込みは329万円で、管理費の主なものは人件費138万6000円。収支差引額132万4000円のうち半分を市に納付することとなっている。

●平川市津根川森牧野

質疑

問 委託料及び利用料は。

答 市から委託料は支払われないが、水源地の賃借料及び水質検査費用を市が負担している。また、市が利用料をいたただかない代わりに施設の補修などの維持管理を使用者側

で負担することになっている。

問 放射性物質の検査体制について。

答 平川市の簡易測定器を使い、職員が定期的に検査を実施している。

●平川市久吉温泉自然休暇村たけのこの里

質疑

問 指定管理料及び収支について。

答 平成23年度の指定管理料は537万9000円で、収支は350万円から400万円の赤字となっており、道の駅（※道の駅いかりがせき。たけのこの里の指定管理者となる碓ヶ関株式会社が経営）の収益で補ってんして経営している。

問 赤字解消の方法はないのか。

答 近隣市町村の小・中学校などへのPR、平日の利用料半額など誘客の取り組みをしているが、冬期間閉鎖、天候の影響等により一度訪れても客足がなかなか続かない。

指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間一覧表

施設名称	指定管理者	期間
平川市碓ヶ関育苗施設	久吉地区野菜育苗組合	平成24年4月1日～平成27年3月31日
平川市東部地区デイサービスセンター	社会福祉法人緑風会	平成24年4月1日～平成29年3月31日
平川市老人福祉センター及び平川市生きがい活動拠点施設	社団法人平川市シルバー人材センター	平成24年4月1日～平成27年3月31日
平川市白岩森林公園	尾崎町会	平成24年4月1日～平成29年3月31日
平川市志賀坊森林公園	広船町会	平成24年4月1日～平成29年3月31日
平川市営駐車場	平川市商工会	平成24年4月1日～平成29年3月31日
平川市駅前駐車場	ふれあいタウンひらか	平成24年4月1日～平成27年3月31日
平川市自然の森	金屋町会	平成24年4月1日～平成29年3月31日
平川市津根川森牧野	津根川森牧野管理組合	平成24年4月1日～平成27年3月31日
平川市おのえスポーツセンター及び平川市尾上体育館	特定非営利活動法人平川市体育協会	平成24年4月1日～平成27年3月31日
平川市久吉温泉自然休暇村たけのこの里	碓ヶ関開発株式会社	平成24年4月1日～平成27年3月31日

# 補正予算関係

## 一般会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億3072万3000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ162億3243万1000円とする。

### 〈歳入の主なもの〉

- ・基金繰入金 1億6466万6000円追加
- ・前年度繰入金 577万円追加
- ・市債 2000万円追加

### 〈歳出の主なもの〉

- ・リンゴ経営安定対策事業補助金 614万円追加
- ・緊急保証制度資金利子助成補助金 205万7000円追加
- ・長期債元金 1億5442万9000円追加

## 国民健康保険特別会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億544万8000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ44億5314万3000円とする。

### 質疑

**問** 財政調整基金繰入金  
の状況は。

**答** 平成23年11月末現在の基金額は、3億6137万5120円、23年度において1億3126万7000円を繰り入れ、23年度末では2億3010万8120円となる見込みである。

## 介護保険特別会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ2億1874万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ32億5172万8000円とする。

### 質疑

**問** 財政安定化基金貸付金の第4期中の合計額と第5期での一人当たりの額はどれくらいになるのか。

**答** 第4期中での借受総額は8042万1000円となり、第5期においておおむね250円程度介護保険料が上昇する。

**問** 地域密着型特別養護老人ホームの開設による介護保険料への影響は。

**答** 介護保険加入者数や入所者の状況により変化するため、現時点での推計は困難であるが、審議会等で諮りながら差異が少ないように努力する。

## 国民健康保険診療施設事業診療所特別会計

予算の総額から、歳入歳出それぞれ327万8000円を減額し、総額を3億7096万7000円とする。

## 学校給食センター特別会計

予算の総額から、歳入歳出それぞれ14万5000円を減額し、歳入歳出の総額を3億9022万9000円とする。

### 質疑

**問** 給食費未納者への対応は。

**答** 当面は担当課において徴収、回収に努力する。今後の対応として未納者の子ども手当窓口払いの際に納付相談等を行い、個々の実情把握に努め、意図的に納めない等の悪質な場合は厳正に対応していく。

## 水道事業会計

人件費の精査等により所要の補正を行うものである。

その内容は、収益的収支の収入について、繰出の対象となっている子ども手当に要する経費の一般会計補助金を5万6000円減額し、支出については県の人事委員会勧告後、内容に準じた給料月額引き下げ及び既決予算の人件費の精査により、合わせて総係費を12万円増額するものである。

### 質疑

**問** 下水道への加入率が低い。その対策は。

**答** 23年度における計画では、公共下水道への新規加入者数16件、農業集落排水へ7件、計23件増える予定である。

加入率向上のためにチラシ配布、市のイベントへ参加をし啓発活動を行っている。

## 下水道事業会計

人件費の精査及び扶助制度の要綱に基づく改造費並びに資本的支出に計上されている建設改良費の排水設備整備に要する経費について補正を行うものである。

その内容は、収益的収入について一般会計補助金を60万3000円増額し、支出では県の人事委員会勧告の内容に準じた給料月額引き下げ及び既決予算の人件費の精査により、総係費を3000円増額し、水洗便所改



# 平成23年第4回定例会 【12月開催】

# 議 決 一 覧 表

議案 番号	議 案 名	本 会 議		常 任 委 員 会		
		結 果	備 考	付 託 先	結 果	備 考
<b>【人事案】</b>						
115	平川市教育委員会委員の任命について	原案同意	全会一致	—	—	—
116	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	全会一致	—	—	—
117	平川市固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	全会一致	—	—	—
118	平川市固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	全会一致	—	—	—
119	平川市固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	全会一致	—	—	—
<b>【条例案・条例改正案】</b>						
120	平川市暴力団排除条例案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
121	平川市外国語指導助手の給料、手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
122	平川市尾上体育館条例案	修正案可決	全会一致	教育民生	修正案可決	全会一致
<b>【その他】</b>						
123	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合同規約の変更について	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
<b>【指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について】</b>						
124	平川市碓ヶ関育苗施設	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
125	平川市東部地区デイサービスセンター	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
126	平川市老人福祉センター及び平川市生きがい活動拠点施設	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
127	平川市白岩森林公園	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
128	平川市志賀坊森林公園	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
129	平川市営駐車場	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
130	平川市駅前駐車場	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
131	平川市自然の森	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
132	平川市津根川森牧野	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
133	平川市おのえスポーツセンター及び平川市尾上体育館	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
134	平川市久吉温泉自然休暇村たけのこの里	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
<b>【補正予算案】</b>						
135	平成23年度平川市一般会計補正予算案（第3号）	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
136	平成23年度平川市国民健康保険特別会計補正予算案（第2号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
137	平成23年度平川市介護保険特別会計補正予算案（第2号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
138	平成23年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
139	平成23年度平川市学校給食センター特別会計補正予算案（第2号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
140	平成23年度平川市水道事業会計補正予算案（第3号）	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
141	平成23年度平川市下水道事業会計補正予算案（第3号）	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致

## 議会を傍聴してみませんか

定例会は3月、6月、9月、12月に行われます

詳しくは議会事務局まで 電話（0172）44-1111（内線1511）

※12月議会では51名の方が傍聴されました。



平成23年第4回（12月）定例会 一般質問傍聴席

# 市政に関する一般質問より

●12月定例会では、13日（火）と14日（水）の2日間にわたり、12人の議員により一般質問が行われました。  
●ここでは質問及び答弁の内容を要約して掲載しております。

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問を行い、定例会ごとに行われます。  
議案の質疑とは別に通告が必要で、当市は、通告の受付順に一般質問を行っています。

## 1. 古川 敏夫 議員

〔一括質問方式〕

1. 福祉行政について
2. 地域活性化事業について

## 2. 今 俊一 議員

〔一括質問方式〕

1. 平川市地域防災計画について
2. 市民ボランティア活動の支援について

## 3. 鳴海 伸仁 議員

〔一括質問方式〕

1. 弘前圏域定住自立圏の形成に関する協定書を締結後の平川市の今後のあり方について

## 4. 工藤 竹雄 議員

〔一括質問方式〕

1. 原・浅井（1・2号）遺跡問題の見解について

## 5. 福士 恵美子 議員

〔一括質問方式〕

1. 子育て支援対策について
2. 学校支援対策について
3. 職員の職場環境及び業務内容について
4. 収納方法の拡大について

## 6. 成田 敏昭 議員

〔二問一答方式〕

1. 碓ヶ関診療所問題について

## 7. 對馬 實 議員

〔一括質問方式〕

1. AED（自動体外式除細動器）の設置及び管理について
2. 町会要望事項について

## 8. 小野 長道 議員

〔二問一答方式〕

1. 津軽みらい農協カントリーエレベーター建設に伴う組合員の意見について
2. 平川市ふれあいセンターの現状について

## 9. 齋藤 政子 議員

〔一括質問方式〕

1. 農業問題について

## 10. 齋藤 剛 議員

〔一括質問方式〕

1. 平川診療所のあり方と旧平賀病院の未来について

## 11. 齋藤 律子 議員

〔二問一答方式〕

1. 平成24年度予算編成について
2. 平賀駅前トイレについて
3. 放射能物質汚染の対策について
4. 金屋線、日沼線の実証運行の終了について

## 12. 大澤 敏彦 議員

〔一括質問方式〕

1. 農業振興について
2. 平賀東中学校運動場整備について

負担の大きい介護保険料を少しでも安く！



古川 敏夫 議員

介護保険問題など、今後どのような方針で福祉を推進していくのか

**古川** 先行き不透明な国の施策、負担増となる介護保険料や医療費負担に市民は不安を抱いている。  
**市長** 選挙公約で福祉の充実を掲げ、その実現に向けて保育所の第3子以降無料化や、乳幼児医療費、ひとり親家庭等医療費の現物給付などの施策を実施してきた。今後も厳しい状況が続くと思うが、国の動向を注視しながら市民の福祉充実のため力を注いでいく  
**市民生活部長** 第4期の介護保険料は料金設定を低く抑えるために、県の財政安定化基金からの一時的な借り入れをしているが、第5期においてこの借入金の償還をしなけ

ればならない。そのため、次期保険料については6000円から6500円になるのではないかとと思われる。介護給付の動向や経済情勢を考慮し、慎重に対応していく。

地域活性化対策として、建設業への支援策を示せ

**古川** 経済効果をもたらす建設業の活性化のために、公共工事の平準化施

工のための早期発注、地元建設業者への優先発注をすべきではないか。  
**市長** 建設関連予算については、昨年に引き続き今回の12月補正予算でも道路等整備事業に係る債務負担行為を設定し、事業の平準化を図ることとしていく。国の第4次補正も検討されていることから、それらについても注視しながら予算の確保に努めていく。

不備のないように防災計画の見直しを



今 俊一 議員

今 東日本大震災を機に自治体には地域防災計画の見直しが求められている。現行の計画の重点的な見直し点、作業の進捗状況を示せ。

**市長** 国、県の防災基本計画と整合性のある計画としなければならぬため、現在検討を進めている見直し作業は来年度に及ぶことになる。

避難場所のライフラインの整備状況と課題、取り組みについて

**市長** 各避難場所での停電時の非常用発電装置、水の確保など有事の際の市民の安全・安心、生命を守る対応を。

現実性を伴う地域防災計画の見直しを！

う連絡体制の確立、地域の自主防災組織設置の推進、無停電電源装置の小中学校に設置などを計画している。水、暖房などのライフライン確保のため自家発電装置を設置するなど、機器の整備等を協議、検討していく。

市民が行うボランティア活動に対し、市はどのような立場でどのような扱いを考えているのか

**今** 被災地に赴く市民の災害ボランティアに対する市の支援、市民活動を後押しする支援策はあるのか。

**市長** 市外で発生した災害に対する市民ボランティアの派遣担当部署は、総務部や市民生活部であるが、現状は市を経由しない派遣が大半であると見込まれる。社会福祉協議会などと連携していける体制を検討してみたい。



平川市民が安全・安心して暮らせるビジョン策定を！



鳴海 伸仁 議員

弘前圏域定住自立圏協定締結後の進捗状況、平川市の立地条件を生かした施策に対する考えを示せ。

鳴海 十分に検証し、いかなる状況でも地域において暮らしていけるようなビジョン策定を。

市長 中心市である弘前市では「定住自立圏共生ビジョン」策定にあたり、11月17日に「第1回定住自立圏共生ビジョン懇談会」を開催しており、今後はこのビジョンに基づいて具体的な施策の取り組みを行う予定となっているが、平川市にメリットのあるようなものではなくてはならないと思っ

ている。定住自立圏形成に関する協定項目は9分野あるが、それぞれの取り組みについて当市の各地域そ

れぞれの特性を生かした施策を協議し進めていかなければならないと思っている。

企画財政部長 今後は、24年2月に市町村長開議があり、その中でビジョンを協議し決定する。平成24年度からビジョンに基づく連携事業を実施することになっている。

鳴海 進捗状況がわかるように市のホームページ等を活用するのか。企画財政部長 ホームページや広報等により周知したい。

※平川市ホームページ「新着記事」より「弘前圏域定住自立圏構想」(平成24年1月6日付)の詳細を紹介しています。

※弘前圏域定住自立圏構想とは

中心市宣言をした弘前市と、賛同した黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村の7市町村が相互に役割分担し、医療、福祉、教育、産業振興、観光振興、地域防災、環境、地域公共交通、圏域市町村の職員等の交流など9つの政策分野について連携、協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確認し、地方圏への人口定住を促進する自治体間連携の取り組み。

遺跡問題を解決し、定住促進を実現せよ！



工藤 竹雄 議員

遺跡の調査方法と現状について

工藤 調査方法とその後

の保存状態、現状を示せ。市長 遺跡の調査方法には試掘調査、学術調査、発掘調査があり、浅井遺跡・原遺跡ともに試掘調査後は開発計画がされていないため、現状は農地として活用されている。

土地基盤整備開発計画について

工藤 合併協議会では町村整備計画は引き続き継続することとなっているが、遺跡はどのようになっているのか。

市長 当該区域は市街化区域の第一種住居地域に指定されており、「平川市都市計画マスタープラン」では住宅地として位置付けられ、都市計画法

上でも宅地開発可能な地区だが事業を実施する計画は今のところない。

都市計画区域内、市街化区域の目的とは何か

工藤 農地法や都市計画法から、市街化促進区域となるのか。

市長 平川市の都市計画は、弘前市を中心とした5市町村で構成される弘前広域都市計画として運用されている。市街化区域の目的は都市計画法により、すでに市街地を形成している区域と、その周辺を地形等により区域指定したものと考えてい

る。また、都市計画は遺跡などの有無に関わらず、区域区分の決定が行われることを御理解願いたい。

市街化区域の遺跡指定内の土地、原野等の課税減免について

工藤 開発をしていない農地の宅地並みの課税適用は不公平であり、減免すべきではないか。

市長 平成21年固定資産評価替えの際に、鑑定評価をもとに負担軽減措置を講じているが、平成24年評価替えの実施時に更なる見直しを検討している。



尾上地域 原遺跡付近

## 納税方法の多様化を検討せよ！



福士 恵美子 議員

命に関わるような事故にならぬよう、危険箇所の点検・改善をせよ

福士 子ども広場、ひらかわ市民の森、あしげ堤親水公園に設置されている遊具や柵、悪臭問題など子どもや市民が利用する施設の環境改善対策を早急に行うべきである。

市長 遊具等は、職員による日常点検、専門業者による定期点検も行っており、破損等の状況は確認しているので早急に改修する。

小・中学校の空き教室を活用せよ

福士 学校支援ボランティア等の活動拠点となるスペースとして、少子化により空いた教室を利用できないか。

教育長 市内小・中学校の空き教室は40教室のうち、36教室は児童会室などで利用されている。地域団体の空き教室利用は校長の裁量となっているが、よく話し合い実現に向けて努力したい。

平川市職員の勤務状況を示せ

福士 ①平成24年3月末の退職者及び4月の採用者数。②大規模退職時の職員採用計画。③時間外勤務の実態。④病気休暇、産休職員数とその対応。

市長 ①退職者数13名、採用は7名を予定している。②今後10年間の定年退職者数は多い年度で28名、少ない年度は8名を予定している。採用者数は、退職者数を基礎とするもの、平準化とするものなどがあるが職員数の増減が大きいため、市役所組織機構見直しプロジェクトチームの検討結果も踏まえて判断する。

③業務が煩雑化し多忙な部署があり、長時間の時間外勤務をしている職員がいることは認識している。タイムカードを調査し、産業医に面談を勧めるなどしている。④平成23年1月から1カ月以上の病気休暇取得職員は4名、産休・育児休暇取得者は7名である。長期休暇取得職員があっても、基本的には部署の内部調整で補っていくこととしているが、場合によっては臨時職員等を配置することもある。

指定金融機関・収納代理金融機関以外での収納方法の確立を

福士 時間的に便利なコンビニ収納、年配の方が利用しやすい郵便局での収納はできないのか。

市長 納入通知書の様式変更等、コストバランスを考慮し慎重に対応したい。

企画財政部長 コンビニ、郵便局は本税は納付できるが延滞金等は処理しない。また、手数料が高いなど問題点もあり、市民が納付しやすい状況を考えていく。

## 碓ヶ関地域住民が安心して暮らせる医療体制確立を！



成田 敏昭 議員

黎明郷からの議会や地域住民への説明を求め

成田 旧碓ヶ関村では議会の議決を経て、黎明郷に土地無償提供、財政支援等も行っているのに、閉鎖に関する住民説明がないのはなぜか。

市長 今後、市として黎明郷側に説明会開催を求めるとはしない。住民が自主的に説明を要望することは否定しない。議会では議員総意をもとに、説明場面を設定することは可能である。

診療所問題を議論する地域検討会を設置せよ

成田 診療所閉鎖は医療に対する住民の危機感が大きい。検討の場を設け、議論すべき。

市長 市では副市長、関係部課長らで構成する碓ヶ関診療所庁内検討委員会を設置し、1月末までに具体的な対応方針が報告される予定である。

診療所新設の問題点

成田 市が碓ヶ関診療所新設する場合の問題点とは何か。

市長 医師の確保、長期経営を視野に入れた経営形態、収支等も考慮しなくてはならない。また、市民、市議会議員の御理解が不可欠である。

成田 診療所新設は手続きに時間がかかるのではないか。

総務部長 国への申請、建設する場合は1年以上時間を要する試算であるため、3月31日の黎明郷撤退後の空白期間をどうするか検討している。

市の地域医療の考え方を示せ

成田 住民の安心・安全を守る地域医療は自治体の責任ではないか。

市の方向性や解決策の住民説明会開催予定は

成田 開催予定と時期は。市長 1月末の庁内検討委員会の結論が報告されたのち、3月までには碓ヶ関地域住民説明会を開催する予定である。



早期問題解決が待たれる黎明郷碓ヶ関診療所

町会要望事項に対し、100パーセントに近い実施率を！



對馬 實 議員

**AED自動体外式除細動器の設置状況について**

**對馬** 市民を対象に使用方法について講習会を開催すべきではないか。管理方法はどのようになっているのか。

**市長** AEDは、平成19年度に市内中学校へ、平成20年度には市内小学校



市役所本庁舎 2Fエレベーター付近にあるAED

**對馬** 行政委員連絡会議における町会からの要望に対し「長期総合プランで検討する」「緊急性が低い」など、数年にわたり同じ回答をされている町会もある。  
**市長** 平成22年度における

及び市役所本庁舎など28施設に設置している。使用に関しては、職員を対象に講習会を開催している。また、消防本部で行う救命講習においても年間千人前後の方が受講している。  
施設を管理する所管課が管理をしているが、使用期限のある除細動電極やバッテリーは定期的に交換している。

**町会要望事項に対する、より具体的な回答をせよ**

市は農協に対し、組合員への早急な説明をするよう指導すべき！



小野 長道 議員

**多大な補助金を支出している行政にも新設カントリーエレベーターに関する責任があるのではない**

**小野** 新設されるカントリーエレベーターまで、

平賀東地区や尾上地区からの搬入には時間と経費がこれまで以上に要する。このことについて農協との話し合いはあったのか。また、生産組織に対する利用計画書の早期提出を農協に指導すべきではないか。  
**市長** 新設施設への搬入には、地域によっては今までよりも時間や経費がかかることが予想されますが、その一方で運搬時間の待ち時間が短縮されるの見方もある。事業主体は農協であるので、組合員負担等の対応は農協

で検討してもらおう。  
**経済部長** 建設場所、利用計画についてはあくまでも組合員・単位生産組合・農協との事案であり、市では関与しておらず、また、搬入に関する経費助成などは考えていない。

**指定管理施設である平川市ふれあいセンターの老朽化について問う**

いている。現在、指定管理期間中ではあるが危険を伴う状況になった場合は使用中止、廃止の計画である。その場合には、金屋地区多目的研修施設を使用して対応できないかと考えている。  
**市民生活部長** 高砂クラブと金屋町会の話し合いと議論を進めていただき、今後の活用について連携、連絡をいただければよいのではないかと。

**小野** 金屋地区にある当該施設は、地元の高砂クラブの憩いの場にもなっているが施設の老朽化が激しい。市では改築の考えがあるのか。  
**市長** この施設は旧尾上町時代、合併前に解体予定であったものを高砂クラブが使用したいというところで、町会が管理し、使用不可となった場合は建て替えせず終了という条件で貸したと聞



老朽化が著しい平川市ふれあいセンター

農家の助成事業は利用者の負担軽減を図るべき！



齋藤 政子 議員

23年度リンゴの収穫について

齋藤 全体量と良品物が少なく、かなりの収入減になると思われる。今年のリング販売と対応策について、どのような捉え方をしているのか。

市長 収穫量減収に伴う収入減対策として、農家支援融資に係る利子助成を検討している。また、あらゆる部分で農協と連携しながらリングの販売に対し応援をしていくのが市としての販売に対する対応であると考えている。

齋藤 農家が支払う融資の利子額を市で負担してもよいのではないか。  
 経済部長 利子補給事業の助成率は従来の助成率、他の市町村との兼ね合いから整合性をとって

いかなくはないけない。

放射能測定器の活用について

齋藤 測定器設置課、使用職員数、活用内容を示せ。

市長 放射能簡易測定器は9月末に納入され、一般の貸し出しは行わず、要請を受けて職員が向き、10月には農産物7品、保育園6箇所、市内全小・中学校ほか合計39箇所の

検査を実施し、いずれも自然界の放射線量と変わらなかった。  
 経済部長 測定器は農林課に設置し、8名ほどの職員が測定の勉強をしながらしている。

新規就農倍増プロジェクトについて

齋藤 農林水産省では、若い世代の就農への意欲を高め、時代の担い手を確保するための支援事業を行うようである。市での取り組みを示せ。  
 市長 「地域農業マス

タープラン」に位置付ける必要があるため、県や関係機関と連携しながら市としても積極的に取り組みたい。

経済部長

現在はまだ意見調整の段階で、国・県に照会しても詳細な要綱が示される段階ではないようだ。市ではすぐに対応できるような土壌づくりはしている。

TPP対応について

齋藤 段階的に自由化が進むと思われる農業問題について、どうやって農業を守り、力をつけていくのか市の考えを問う。  
 市長 TPPは農業だけでなく全てのものに影響を及ぼす。担当部とともにあらゆることを想定し、所得をあげていく努力をしていく。

NO!  
 TPP

多額の費用をかける診療所経営は市民の負担である！



齋藤 剛 議員

平川診療所を廃止せよ

齋藤 時間制限があり、医療報酬の少ない診療所に市から年間1億円以上の支出はこれからも続き、経営はますます悪化していくのではないか。

市長 平川診療所は高齢者を中心とした慢性疾患患者に対し一定の医療サービスを提供している。保健行政と連携し、各種検診による疾病予防にも取り組んでいる。  
 現在、健康センター内に移転新築に向け基本設計をしているところだが、市として国・県からの連絡があった場合の基幹となる診療所はなくてはならないと考えている。

齋藤 診療所は何年続けるつもりか。  
 市長 何年続けるかは言

えないが、市長としての立場では継続し、最小限の経費で最大の効果を上げるような経営努力をしていきたい。しかし新診療所になっても、億単位の財政支出が出ていくことになれば継続していくことはできないと考えている。

旧平賀病院の解体時期とその後の土地利用について示せ

齋藤 解体後は人口増加に向けた土地利用をしていくべきではないか。

市長 診療所の移転新築後、売却、貸付など建物跡地の処分を計画的に進めていきたいと考えている。

平川診療所事務長 診療所移転新築までのスケジュールは、平成23年度基本計画、基本設計、平成24年度実施設計、平成25年度建築工事、平成25年12月開業予定である。現在の建物はその後解体する予定となっている。



新診療所建設後の取扱いが注目される旧平賀病院

# 市民の暮らしのニーズに即した対策を！



齋藤 律子 議員

介護保険料、国保税など市民の暮らしに関わるものにもっと予算を向けるべきである

齋藤 平成24年度予算の編成方針、地域経済活性化対策の方向性を示せ。

市長 平成24年度は長期総合プラン後期基本計画の初年度であることから、定住促進や少子化対策などの重点事業のほか防災対策事業などへも重点的に予算措置する。また、景気・雇用対策事業など地域活性化対策に対する予算も重点的に措置する。

市民の安全を確保するための市の姿勢を示せ

齋藤 不審者が出没する平賀駅前トイレの早急な

犯罪防止対策を。

市長 防犯対策として、注意喚起文書の提示、職員の見回り強化、警察や近隣会社への協力依頼、生け垣の刈り込みなど努力しているところである。今年度中には異変を知らせる防犯ベル設置改修工事が完了するが、男女別の入口設置は道路状況等により困難であるため、御理解願いたい。

放射性物質汚染から市民を守るため継続的な調査を

齋藤 被曝から子どもを守る対策、農産物の数値測定への見解、測定数値の公表について述べよ。

市長 子どもを守る取り組みとして、小・中学校の校庭、プール、保育園、水道水、学校給食等の検査を行い安全性を確認するとともに、情報提供に努めたい。農産物は県のモニタリング調査のほか、市独自に簡易測定器等での調査を行ってきた。今

後は降雪時の影響も調査したいと考えている。測定数値の公表は、誤差の範囲内で誤解を招く恐れがあることから公表できない。

平川市の中心部へ人の足を向ける取り組みを

齋藤 金屋線、日沼線の実証運行バス廃止に伴う次の方策を示せ。

市長 市内のバス利用者は減少傾向にあり、バス路線維持のため多大な行政負担が必要となっている。市民の利用一体とニーズの把握に努め、既存バス路線の有効活用等、持続可能で利用しやすい公共交通サービスの実現に向けて検討していきたい。

# カントリーエレベーターへのアクセス道路問題を解消せよ！



大澤 敏彦 議員

一箇所に集中する運搬時リスクを回避せよ

大澤 現在建設中のカントリーエレベーター完成後は、搬入時に渋滞が予想される。問題発生時には道路の新設も含め対処していただきたい。

市長 農協では新年度において生産者からも意見を聞きながら対処することである。市ではそれを見守りながら必要な部分に対して、議員の皆さんの同意を得ながら対処していくつもりである。

防球ネットを設置し、近隣民家や通行人への被害、部員の交通事故を防止せよ

大澤 東中ソフトボール場は、約1メートル80センチのフェンスで囲まれているだけで、打球が民家に飛んでいたり、部員が県道を越えて拾いに行ったりしている。大きな事故が起きる前にネットの整備が必要ではないか。

教育長 現在あるフェンスは防球フェンスとしての役割を果たしておらず、改善していかなければならない。平成24年度整備へ向けて対応を検討していく。



3月完成に向け建設の進むカントリーエレベーター

# 建設経済常任委員会

## 所管事務調査報告

●調査期日  
平成24年2月13日（月）

●調査場所  
東部、尾上、平賀地域内  
道路及び農業施設等

●調査目的  
豪雪被害の調査

●出席委員  
小野 長道 成田 敏昭  
小田桐信勝 工藤 竹雄  
鳴海 伸仁 石田 隆芳  
(計6名)

●欠席委員  
古川 敏夫

(計1名)

●説明者  
建設部土木課長 鶴田文明  
経済部農林課長補佐 大湯幸男



鶴田土木課長より説明を聞く様子

●委員長所感

今冬の豪雪は、市民生活及び当市の基幹産業である農業に甚大な影響を及ぼしていることから、市で実施している豪雪対策、雪における被害調査をすることとなった。

道路及び農業施設等の被害状況を確認するにあたり、碓ヶ関地域においては被害報告がなかったことから、今回は東部、尾上、平賀地域を調査範囲とした。

道路調査においては、おおむね交通の安全は保たれており、土木課の努力の形跡が見受けられたものの、車の交差が困難な箇所、厚い雪壁により視界不良となっている箇所



倒壊したビニールハウス

所、カーブにより見通しが悪い箇所があり、更なる除雪を土木課長にお願いした。

ビニールハウス倒壊現場では、度重なる降雪により雪のやり場がないことと低温が続いたことで倒壊したようである。雪解けまで回復作業は困難であり、ハウスの再設置費に對しての助成の要望があるため、議会としても働きかけたい。

リンゴ畑被害調査では、幹線農道への早期除雪、除雪機への補助等の必要性、更なる枝折れの被害が想定されるので、これらの対策を訴えた。



枝折れしたリンゴの木

ひらかドーム雪置き場においては、ドームに匹敵するほどの雪山ができるほどの搬入量であり、雪置き場の必要性和春先のこの雪の消雪作業の重要性を感じた。

現状の道路へは対処されていると思えたが、未だ予断を許さない状況であるので市民生活の安全を守るためにも、万全の除雪体制で頑張っていたいただきたいと思う。また、雪解け時期を迎えるにあたり、リンゴの枝、農業施設等は更に被害報告があると思えるが、対策を考え対処してもらいたい。助成の要望に市当局と協議し、尽力しなければならぬと思っ



雪壁により道幅の狭い市道

### 調査した道路及び農業施設等一覧

No.	道路・農業施設名等	No.	道路・農業施設名等
1	東部地区（道路ほか積雪状況）	5	広域農道（つがるロマン街道）
2	高木地区（ビニールハウス）	6	石郷、原田、高畑、吹上地区市道及び県道
3	中佐渡地区（市道除雪状況）	7	柏木町地区（ビニールハウス）
4	猿賀地区（リンゴ畑）	8	ひらかドーム（雪置き場）

# 大坊小児童 議場見学

2月10日、大坊小学校6年生(24名、引率教員2名)が議場の見学に訪れました。

議会事務局職員から議員や議会等の説明後、児童会長を議長として模擬議会を行いました。

教頭先生と担任の先生を理事者に見て、児童からは「教頭先生は普段、どんな仕事をしているのか」「子どもたちのころは先生以外にどんな職業につきたかったか」「何色が好きか」「得意な教科は何か」など、活発な質問が出されました。

模擬議会終了後は、議場内、議長室、委員会室等の見学をしました。

6年生では社会科において政治に関する勉強もすることから、今回の経験が授業の役にたつことを願います。



議長席につく尾田君



事務局職員の説明を聞く子どもたち



質問に答える教頭先生



先生方に活発に質問する子どもたち



緊張しながら答える担任の先生

## ＊ 議会の動き ＊

### 平成23年

- 12月2日 議会運営委員会
- 〃日 議会広報特別委員会
- 3日 「平川ねぶたまつり“冬の陣”」開会式に議長ほか出席
- 6日 黒石記者クラブ筆供養に議長出席（黒石市）
- 9日 碓ヶ関診療所対策委員会来訪に議長対応
- 11日 社会福祉法人津軽やわらぎ特別養護老人ホーム落成記念祝賀会に議長出席
- 13日 特別養護老人ホームおのえ荘新築落成祝賀会に議長出席

### 平成24年

- 1月4日 市民新年を祝う会に議長ほか出席
- 6日 平賀建築組合通常総会並びに懇親会に議長出席
- 8日 平成23年度平川市成人式に議長ほか出席
- 〃日 平川市尾上職人組合通常総会並びに懇親会に副議長出席
- 11日 平川市保育連絡協議会新年懇話会に議長出席
- 13日 平川市消防団本部新年会に議長出席
- 16日 青森県市議会議長会事務局長会議に事務局長出席（青森市）
- 19日 叙勲・褒章・県褒賞受賞合同祝賀会に議長ほか出席
- 22日 「第6回平川市連合婦人会体育まつり」に議長出席
- 24日 平成23年度津軽南市町村議会連絡協議会第2回事務会議に事務局長出席（黒石市）
- 25日 人口減少社会における地域力の再生・創出トップセミナーに議長出席（青森市）
- 〃日 平川市観光協会新年会に議長出席
- 28日 木村太郎を囲む新春の集いに議長出席（弘前市）

- 28日 冬のツーリズム第5回「尾上農家蔵物語」に副議長出席
- 29～30日 東京津軽平川会新年会に議長出席（東京都）
- 2月3日 建設経済常任委員会
- 〃日 第25回平賀はしご酒まつり開会式に議長出席
- 4日 平成23年度平川市表彰条例及び平川市教育委員会表彰規則による表彰式・祝賀会に議長ほか出席
- 第6回雪と子どもたち開会式に議長ほか出席
- 7日 議会広報特別委員会
- 〃 平成23年度青森県市議会議長会第3回定期総会に議長、事務局長出席（弘前市）
- 8日 平成23年度津軽南市町村議会連絡協議会第2回定期総会に副議長、事務局長出席（黒石市）
- 12日 平成23年度平川市青少年健全育成市民大会に議長ほか出席
- 13日 建設経済常任委員会所管事務調査
- 17日 おのえ企画「新酒まつり」に副議長出席
- 19日 平川市立広船小学校閉講式及び感謝の集いに議長ほか出席
- 20日 議会広報特別委員会
- 23日 平成24年第1回青森県後期高齢者医療広域連合議会定例会に議長出席（青森市）
- 24日 平成23年度第4回平川市地域公共交通協議会に議長出席
- 27日 議員全員協議会
- 29日 議会運営委員会
- 〃日 平川市安全・安心まちづくり懇談会に議長出席

### 請願書・陳情書の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に、分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、請願（陳情）者の住所、氏名（法人の場合は、その名称及び代表者氏名）を書いて必ず押印してください。
- ③ 請願の場合は、一人以上の紹介議員が必要になります。紹介する議員は、署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

#### 【記入例】

平成 年 月 日

平川市議会議長（氏名） 殿

住所 氏名 ④  
氏名 ④

請願（陳情）者  
紹介議員

〇〇〇に関する請願（陳情）書

【請願(陳情)の要旨】

【理由】

### 編集室から

新聞によると、昨年1年間に自殺した人が全国で3万513人だったことが10日、警察庁のまとめでわかった。3万人を超えるのは14年連続だが、前年より1177人減っており、2年連続の減少になった。

2010年までの3年間は3月に亡くなる人が多く、10月や11月に2回目のピークがあった。この時期に企業の経営状況や解雇が明らかになることと関連があるのではないかとみられていたが、昨年は例年と異なり5月が最も多く、その後、12月まで減少を続けた。とのことだ。

日本の人口が減少し始め、世界でも例のないスピードで進行すると言われています。その原因の一つは出生率の低下のようですが、それに加えて、自ら命を絶つ人が年間3万人を超えるというは、それ自体異常なことですし、大変な損失でありとても不幸なことです。関係者の努力によって、対策がいろいろとなされていますが、1人でも2人でも自ら亡くなる人が減ることを願わずにはいられません。

（福士恵美子）